

新学習指導要領で求められる「生きる力」を育むために 小学校5年生を対象とした「新聞をつくろう」授業を実施

～テーマは「日食と月食」。調査、編集、発表を体験～

奈良県で小中高生対象の学習塾「KECゼミナール」「個別指導PS」を展開する株式会社ケーイーシー（本社：奈良県生駒市 代表取締役：小椋俊男）は、小学校5年生を対象にした日曜スクールで、『日食と月食』をテーマに新聞をチームでつくりあげる授業「新聞をつくろう」を6月26日（日）にKECゼミナール3カ所の教室で開催します。チームで新聞を作ることで、他人と協調しながら、自ら考え、判断し、表現する能力「生きる力」を育みます。この日曜スクールは塾生以外の参加も可能です。

新学習指導要領が今年4月から適用されたことで、学校現場では「ゆとり」から「生きる力」を育む教育にシフトしています。当社では2003年から奈良県下の学習塾でいち早く「表現」の授業を導入しており、討論などを行うことで生徒の表現力を伸ばす授業を行ってきました。子供たちに求められる「生きる力」の育成と合わせて、理科離れが進んでいるといわれる理科への関心を高めるため、2年前に身近に起こった「日食と月食」をテーマにしました。



みんなで討論し新聞を完成させる

参加者はまず前日までに図書館やインターネットで事前に調査を行います。そして当日、4～5人で1グループとなり、各自持ち寄った情報を共有し、記事にする内容を決めます。記事を書く前には、新聞の作り方についての説明を行い、記事やタイトルなど新聞記事がどのような構成でできているのかを学びます。

記事の構成、発表の内容はすべて子供たちが自主的に考え、模造紙に手書きでイラストや記事を書いて新聞を作り、最後に発表を行います。完成した新聞は教室に掲示する予定です。

「新聞をつくろう」概要

- 日 時：6月26日（日） 14：00～16：45（予定）
- 会 場：KECゼミナール3カ所の教室 ※奈良駅前教室ではメディアの取材も可能です
奈良駅前教室住所 〒630-8122 奈良市三条本町5-6 米澤ビル
- 受講費：3,000円[税込]（理科のほか、午前の国語、算数の授業を含んだ料金になります）
- 対 象：小学校5年生
- 申込方法：KECゼミナール 実施教室への電話にて申し込み
※定員30名程度

本件に関するメディアからのお問い合わせ先

株式会社ケーイーシー 広報担当 石崎千里 ホームページ：<http://www.kec.gr.jp/>
〒630-0255 奈良県生駒市山崎新町2-37 エミネンス生駒1F
TEL：0743-73-3323 FAX：0743-73-3423 e-mail：ishizaki@cec.gr.jp

参考資料

■KEC ゼミナールが取り組む「表現力重視の教育」

当社では 2003 年から県内学習塾としていち早く、算数や国語と同じ扱いで「表現」の授業を導入。討論し、表現することを楽しみながら鍛えるディベート形式や表現力ノートを取り入れ、生徒の個性やセンスを尊重し、個性を伸ばす教育に力を入れています。

■表現教育に関する補足

- ・学習指導要領が「脱ゆとり」へと大きくかじを切った 2010 年春からの小学校の教科書には「自分の言葉で考えを説明しよう」「ノートにまとめて発表しよう」など、言葉で表現する力をつけるためのカリキュラムが、あらゆる教科で盛り込まれています。
- ・文部科学省が今年 2 月 24 日に発表した、平成 19～21 年度の全国学力・学習状況調査における、正答率が高いなどの特徴ある結果を示した学校の取り組み実例によると、小学校では「自分の考えを形成し、表現する力を高める取組」や「説明する力を伸ばす少人数指導」が紹介されています。<http://www.nier.go.jp/09zireishuu/index.htm>

■KEC の表現授業概要

・記述対策と発表

グラフや地図から読み取る練習、歴史でよく聞かれる道具や建物などの説明、身の回りの環境や自分を取り巻く生活についての意見作文の練習をします。これを授業中に発表することで、自分の意見を伝える力、つまり面接対策をも意識した表現力を鍛えていきます。発表は他の生徒の考えを知る機会になり、自分の言葉の引き出しを増やすことにも繋がります。

・ディベート形式、ゲーム形式の採用

ディベート形式では、討論し、表現することを楽しみながら新たな発見を見出します。また、ひとつの言葉に限定するのではなく、色々な表現の仕方を考えてもらうために、ゲーム形式の授業も展開しています。

・表現力ノート、スクラップブック

自分が読んだ本の気に入ったフレーズや言葉、日常生活では思いつかない言葉を記入する目的で採用しているのが、表現力ノートです。スクラップブックは新聞記事を切り抜いてその感想を書いています。毎月 5～15 以上挑戦し、時事的な問題にも対応できる力を養っています。

・その他

毎年クリスマス会で、トーナメント形式のディベート大会をチーム戦で実施しています。過去のテーマ例は「サンタクロースは存在するか」「男性がスカートをはくことに対して賛成反対?」「えんぴつとシャーペンどちらが良いか」などです。

■株式会社ケーイーシー概要

社名	株式会社ケーイーシー
代表者	代表取締役 小椋俊男
企業理念	人間大事の教育
従業員数	400 人（非常勤職員含む）
塾創設	昭和 52 年 11 月